

麻 振 第 403 号

平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

長野県東筑摩郡

麻績村長 飯 森 文 治



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号でご依頼のありました「今後の道路行政についての意見・提案について」別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県 麻績村

・都市圏の道路整備と同様、山間地の主要道路も同じ立場で整備を実施していただきたい。高規格道路が整備されても接続する道路網が整備されなければ意味がない。接続される道路網が整備されることにより、産業振興、観光振興の活性化が図れるとともに救急医療体制の迅速化に繋がり、地域住民が安心して生活することができ、地域の活性化・発展に繋がるものと考える。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

長野県 麻績 村

○現状

- (1) 国道403号は、幅員が狭く危険な箇所が多く、特にカーブの幅員が狭い。また、歩道の未設置区間がある。
- (2) 県道・丸子信州新線は、特に住宅隣接地区の幅員が狭い。なお、山間部になると普通車でもすれ違いが無理な幅員がある。
(筑北村地籍)
- (3) 県道・大町麻績インター戸倉線は、大型車両の通行不可区間がある。(筑北村地籍に古いトンネルが有)
- (4) その他村道等は、舗装の劣化、拡幅等改良を進めているが、進んでいないのが現状

○課題

- (全線に共通)
- (1) 大型車同士がすれ違う場合、徐行若しくは停車しなければならず、交通の妨げになる。
- (2) 緊急車両等がスムーズに現場に行くことができず、救命等の処置が遅れてしまう。
- (3) 歩道が未設置のため、特に通勤通学時に自転車及び歩行者が危険にさらされている。
- (4) 冬期間、除雪後はさらに幅員が狭くなり、危険度が増す。
- (5) 国道、県道を結ぶバイパス道路の整備が遅れており、事故等有事の場合には、特に大型車両の迂回路が確保できない。
(前記の課題に付随)
- (6) 長野自動車道が事故等により通行止めになった場合、麻績インターで下ろされ、渋滞等を引き起こし事故に繋がる恐れがある。
- (7) 村道については、補修、改良等財源が厳しい。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
①国道の拡幅及び歩道の設置 ②国道の危険箇所（カーブ等）の早期解消 ③矢越トンネルの早期完成 ④県道、村道ともに拡幅歩道等の整備を行い、主要道路へのアクセスを良くする。	トンネル整備によるカーブ等の危険箇所回避及び道路改良による拡幅 ・滝上トンネル（2箇所） - 筑北村（旧本城村）～安曇野市（旧明科町） ※麻績村～松本市 10分短縮 ・坂上トンネル - 筑北村（旧坂井村）～千曲市（旧上山田町） ※麻績村～千曲市（旧上山田町） 15分短縮	[拡幅及び歩道の設置] ・歩行者の安全が確保でき、特に通学に係る部分では、保護者が安心して就労ができることにより生活基盤の安定に繋がる。また、運転者も対向車及び歩行者の安全が確保されることによって、スムーズな通行が確保できる。また、高齢化社会を迎えるにあたり、安全な通行が確保されることにより高齢者の活動範囲がひろがり、村の活性化に繋がる。 [危険箇所の解消] ・救急（緊急）体制の安全な通行の確保と時間短縮が可能となり、スムーズな運営ができ、救命率向上に繋がる。 ・観光客の入込みの増加も予想され観光産業の活性化、また近隣市町村への通勤可能範囲内として位置づけができ、転入者の増加が見込まれ、人口増に繋がり村全体の活性化となる。	・産業（工場等）の誘致が可能 ・住宅団地の販売向上により人口の増 ・インターチェンジの利用率の向上

長野県 麻績 村